

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 2 columns: 事業所番号, 法人名, 事業所名, 所在地, 自己評価作成日, 評価結果市町村受理日. Values include 3471503643, 特定非営利活動法人 エルダーサポート協会, グループホーム愛の郷駅家, 広島県福山市駅家町法成寺2730番地, 令和3年10月30日.

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

Table with 2 columns: 基本情報リンク先, URL: http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 2 columns: 評価機関名, 所在地, 訪問調査日. Values include 特定非営利活動法人 あしすと, 広島県福山市平成台31-34, 令和3年11月24日.

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

街の中心から少し離れたところに静かに施設があります。広い敷地の中にボンと立っています。山あり畑あり自然に囲まれています。施設の敷地の中にも、かわいい畑があります。ブロッコリーの収穫で、器がきれいな緑に飾られました。柔らかくおいしい野菜です。次に何を植えるかと、みんなで、考えています。喜んでいただけるように、笑顔で花が咲くよう頑張ろうと思っています。何げない野菜でも、喜びにあふれ、優しい言葉がいただける「おいしいね」を、ありがとうございますと感謝いたします。穏やかで落ち着いた場所の提供に頑張っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は理念の「私達は笑顔と優しさの中で穏やかに生活をして頂けるよう慈しみを持って接します。」を基に利用者との会話を大切に、利用者の思いを汲み取った対応で支援している。日々気付きがあれば管理者から声をかけて理念の振り返りと話し合いから実践へとつなげている。利用者の体調管理や事故防止に留意し、利用者の安心安全な暮らしを支援している。利用者はリビングに集い、新聞を見たり、お茶の時間に歌い、洗濯物をたたむなどして人の気配を感じながら日常生活を送っている。食事は畑の野菜も利用し毎食職員が手作りし、季節に合わせた行事食で食を楽しむ支援をしている。事業所は夏祭りや運動会を開催し利用者の楽しみごとの場面をつくっている。また職員の意見を取り入れて業務に反映させ、担当職員が議題を決めた勉強会で職員を育てる取り組みをしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 describe various service outcomes and staff actions.

特定非営利活動法人 あしすと

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	現在の理念を毎朝声に出している	理念をリビングに掲げ、毎朝のミーティング時の唱和で意識付け、実践につなげている。気付きがあれば管理者から声をかけ、理念の振り返りと話し合いをしている。職員が利用者に対してできることなど意見を出し合い、ケアに反映させている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	挨拶をし、回覧板・草刈り・清掃を共有している	町内会に加入し、回覧板から町内の連絡事項や情報を得ている。事業所で行事があれば回覧板を通じて地域に情報提供する予定である。年2回の町内清掃に職員が参加し、地域住民と出会えば挨拶を交わし交流している。	回覧板を活用して事業所の行事などの情報を発信し、地域とのつながりへの取り組みに期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	掲示板にて伝えていける事に努力を続けている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	意見交換の場ではあるが、思いを伝え続ける努力をしている(コロナの為現在は、中止している)	コロナ禍のため運営推進会議は開催していない。事業所の情報提供などの資料作りはしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市役所に出向き担当に施設の状況を伝え、意見交換をしている	ケアマネが介護保険申請や生活保護対象者の手続きなどを行い、市の担当職員と話をしている。困りごとがあれば電話でも相談している。市の生活保護担当者が事業所見学にきたり、地域包括からは空室の問い合わせがあるなど協力体制を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関はインターホンにて対応、声掛け・見守りに十分配慮を行っている	毎月身体・虐待防止委員会を開催し、資料をもとに研修・勉強会を行い、事例検討をしている。利用者への見守りと声かけで安全面に配慮している。管理者はスピーチロックについて気付きがあれば声かけを行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	拘束委員を中心として、声を出し合っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について、毎月の勉強会にて意見交換を行う、また、どのように支援をしたら良いのか話し合う。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	文章を読み、意味を知る。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とのコミュニケーションを大切にしていくなで努力をする事で、たいおうにいかせることを学ぶ	利用者からは日々の暮らしの中で新聞を読みたいや外を眺めたいとの要望があり反映させている。家族からは面会や来所時に話をし意見や要望を聴き、布団や衣服の調整などに活かしている。毎月担当職員が家族に手書きで手紙を書き、写真を同封するなど関係づくりに努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	要望・意見を聞き取り、反映に持っていける努力を惜しまない	ミーティングや日々の業務内で随時職員から意見や要望を聴き、利用者へのケアに活かしている。職員のアイデアを反映させ、夏祭りや運動会を開催することができた。時には管理者から職員へ話しかけ、意見や要望を聴くように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	整理整頓を行いながら、どうしていくのが良いか環境づくりに努める		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日常の中から、築きを探し出し、言葉を伝える努力に努める		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワークの対応方法を学習することに励む		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コミュニケーション作りを十分に行う		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	話すことで関係を作り、少しずつ信頼を築く		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設での状況を把握していただき、理解を得ることに努める		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事への理解を持ち、出来ないことへの対応を考える		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話や、手紙にての報告を惜しまない、また、疑問や、問題があればすぐに対応をする		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	情報収集に努め、コミュニケーション作りを怠らない	希望時に玄関で面会を行っている。家族や親戚の面会があり、利用者はおやつと一緒に食べることもある。職員は利用者の思いや様子を家族に伝え、来所しやすい雰囲気作りで、関係継続の支援に努めている。知人や友人から電話があった時には、話せるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	声を出す努力を惜しまない		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	行事があれば、案内を行う		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーションを築き、思いを聞き取ることに努める	お茶の時間に職員は一緒にお茶を飲みながらゆったりとした会話の中から思いや意向の把握に努め、対応している。思いの表出が困難な利用者が多く、表情やしぐさを観たり、家族から情報を得て本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の性格を知ること、どのようなことを理解できるかを把握する		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	何に対して、どんなことをしたか、どう思っているかを知る		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画に役立つよう、情報収集に努める	ケアマネが担当職員から情報を得ながら話し合いを行い、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月毎に行っている。利用者の状態に応じてカンファレンスを行い、対応している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	家族様へのお手紙による情報収集に努め、さらなる意見を提供していただけるように努める		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	声をかける事での、反応や状況把握をおこない、サービスにつながるために努力を惜しまない		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	昔を懐かしく思われて、話をされることへの理解と喜びを受け入れ、楽しんで頂けるよう努める		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	体調の変化・きずきなどをDrに診察日に報告・相談を行う	入居時に協力医について説明し希望のかかりつけ医を選択してもらっている。往診が2週間に1回あり、受診時は職員と家族が同行している。夜間・緊急時は医師と連携を図り、適切な対応を支援している。歯科は必要時に往診を利用している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の状態の報告を受診日に経過記録報告として伝えている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療関係者との情報交換を怠らない		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設で出来る事・家族が出来る事・何が支援につながるかを考える	入居時に事業所でできる事・できない事を説明し、家族の意向を確認している。状態変化時にも今後の方針について家族の意向を確認し、医師も交えてカンファレンスを行っている。チームで何が出来るかを話し合い、思いに寄り添った対応をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会・研修に参加・個々での自主勉強に励む		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、避難訓練・火災訓練をしている。	年2回地震・夜間想定による避難訓練を利用者も一緒に実施している。避難場所は隣接の小規模多機能施設又は小学校とし、2～3日分の食料の備蓄がある。	訓練実地後に振り返りを資料としてまとめ、職員で情報共有し今後活かされることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	コミュニケーションを築き、思いを聞き取ることに努める	事業所内で接遇の研修を行い、トイレ誘導や入浴時など羞恥心やプライバシーの保護に配慮した対応を心がけている。気になる事があれば管理者はその都度声かけしている。また職員は利用者との対話を大切にし、一人ひとりの人格の尊重を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来たことへの感謝・出来る事への喜びを共にみつける		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	楽しかったね・またやろうか・どんなことかな。パズルをとく事で、共に喜ぶことを共有する		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	声掛け、櫛・鏡などを用意する		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	「お手伝いができますか」「ありがとうございます。」と声掛けを心がけている	畑で育てたつるむらさきなどの野菜も利用し、毎食職員が手作りしている。誕生日には赤飯、ひな祭りにはちらし寿司などの行事食を、おやつには職員手作りのフレンチトーストやおはぎを提供し、毎日10時にコーヒータイムを設けて食を楽しむ支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量・水分の量など、記録におとし、声掛け対応を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨き・歯ブラシ・歯磨きチッシュ・モンダミンなどを用意してゆき、声掛け・一部解除にて対応している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	記録による状況の把握・声掛け対応を行っている	時間やしぐさなどの行動パターンを把握しトイレ誘導の声かけをしている。立ち上がりの声かけをして利用者の有する能力を活かし、利用者の状態に応じて一部介助や見守りで排泄支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分への声掛けや、清潔面では、陰部洗浄・清拭などを行っている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	声掛けや、記録を参考にし、入浴日にはとられず、個々にそった対応をしている	週2回その人のタイミングに応じた時間に入浴している。リフトを利用し浴槽に浸かる人もいる。シャワー浴時は保温も兼ねて足浴も行っている。汚染時にはその都度シャワー浴で対応している。入浴後にはローション塗布や爪切り・髭剃りのケアを行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	歌を唄ったり、軽運動を取り入れている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Drの指示のもと、薬剤師との情報提供・変化があれば相談をし、薬剤師・Drに指示を仰いでいる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	コミュニケーションをもとに声掛けをし、共に行うように努めている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族様に声をかけ、日々の状態を伝え、協力ができれば、出来る事が何かを伝える	桜の季節に個別的に庭に出たり、受診時に車窓から花を楽しむ支援をしている。面会を玄関先で行ったり、窓越しに日光浴を行うなど利用者の状態に沿った支援をしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金庫に保管し、小遣い帳に記載している。 毎月家族様への内容説明は、行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	状況により対応の見直しを行っている。 (オンライン・電話)		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	椅子や・テーブル・ソファーなどの配置、日光浴が出来る環境などを工夫している	整理整頓された木の温かみを活かしたリビングに利用者は集い、歌や体操、お茶をしながら過ごしている。台所からは調理の音やにおいを感じることができる。壁には利用者が作成した作品が飾られている。窓辺にはゆったりとしたソファが置かれ外の景色を眺めながら日光浴ができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室への誘導対応・自席の配置対応。声掛けを行なっている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	担当や、家族と相談し、危険性を伴わないよう検討をし対応に当たっている	ダンスやテレビなどが持ち込まれ、利用者に合わせて居心地よく過ごせる配置を工夫している。家族の写真や利用者の手作り作品、職員が作成した誕生日をお祝いする色紙が飾られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危なくならないよう、不安にならないよう本人の声を聴くように心がける		